



「親心と子どもの世界」

～絵本『学校コワイ』に込めた想い～

よつば もこ 氏



今回のセミナーでは、大阪より、絵本『学校コワイ』の著者であります、よつばもこ氏にお越しいただきました。

よつばもこさんの講演は、「相棒さんワーク」というワークで始まりました。会場内の全員が、隣の席の人と二人組の「相棒さん」になって自己紹介をしたり、講演の中での「こんなときどうする？」という事例について考えたりしました。特に、よつば家で流行っていたという相棒同士で褒め合う「ほめっこじゃんけん」では、会場中に明るい笑顔が広がりました。また、「四角を一つ描いてください。その上に丸を三つ描いてください。」という言葉で出来上がる絵は人それぞれであった体験ワークでは、「伝えつもり」の『思い込み』という危険なワナを、実感することが出来ました。



講演では、『学校コワイ』の絵本の読み聞かせをしてくださいました。著者であるよつばもこさんが、ご自身の声を震わせて読んでくださるのを聴いていると、「本人の世界観に思いも寄らなかった。」というお母さんとしての懺悔の気持ち・・・が伝わってきて、思わず涙が出そうになりました。

絵本に込められた想いについてお話しいただく中で、「母親のしんどさ」についても触れられていました。「しんどさ」は、子どもや学校や社会のせいではなく、自分が持っている価値観のせいでもあり、「いくら親でも、愛情があっても、『頭』ではわかっていても、『心』がついていかないこともある。」「我が子のために一生懸命頑張ったつもりが、逆に追い込んでしまうこともある。」というお話がありました。保護者の方のみならず、施設職員や教師等の支援者全員がドキリとして、自分のしてきた「支援」や「教育」を思わず振り返らずには、いられなかったのではないのでしょうか。「しんどさの向こうに、我が子がもつ世界の深さ、共に成長する喜びがある。」「我が子の親になれたことで、自分自身の価値観も変えることができ、成長できた。」と話すよつばもこさん。「子どものことを、わかりたいと思う気持ち、わかろうと努力し続けることが大切」であるというお話に加えて、「大人になってからも、成長し続ける」「いつからでも仕切り直しはできる」「気付いた『今』からスタート！」という言葉には、ポジティブな力強さを感じました。

よつばもこさんは、「『大人になったらどうなるの?』という、自分(親)自身の不安を、子どもに載せるべきではない!」とお考えでした。「親自身が毎日の日々を楽しむ」ということが、「不安を減らすために今できること」の一つであると教えていただきました。



また、ご自身の子育て経験からも、「特別支援教育」という言葉に違和感を抱くようになったとのことでした。「特別?→あたりまえに受けることが出来るべき」「支援?→本人がで自分で出来るようなやり方を身につけられるようにすべき」「教育?教えて育てる?→共に育ちあうものではないか」というお考えから、「個別 対応 共育」という言葉に読み替えられていました。絵本『学校コワイ』の中にも、主人公の「自分にわかる方法で教えてほしい」「誰かの役に立ちたい」「ありがとう!と言われるのが嬉しい」という思いが、描かれていました。

「自分は、専門家ではありません。」「とてもとても幸せな人生を子ども達にもらっている一保護者です。」「あくまでも絵本は一例です。」「とおっしゃる、よつばもこさん。「聞いてくれた人が、元気になってくれたら・・・」という言葉と笑顔がとても印象的で、太陽のように明るいお母さんのお話に、あっという間の3時間でした。

(文責: 岡村)

前回のセミナー「よつばもこ」さんのお話を聞いていらっしゃる会員の方に、絵本『学校コワイ』の本を御紹介いたします。この絵本は、よつばさんのお嬢さんが学校生活を過ごす中で感じた思いについて、お嬢さんの目線で、お嬢さんの言葉で、よつばさんが文にした絵本です。



ぶん/よつばもこ さん, え/かしだあゆみ さん
ASDヴィレッジ出版 定価: 1000 円+税

よつばもこさんに御了承を得て、今回の広報「森」では「学校コワイ」の挿絵を何点も掲載させていただきました。興味のある方は、是非、御一読ください。

平成28年度TEACCHプログラム研究会 第6回連続セミナー

期 日 平成29年2月26日(日)
時 間 13時30分~16時30分(受付開始13時)
場 所 きぼーる13階 会議室1・2・3

よつばもこさんのお話はいかがだったでしょうか?保護者の方、支援者の方、立場は違っても、心に響く言葉がたくさんちりばめられていた3時間であったと思います。自閉症の方に寄り添うこと、共感することの大切さを改めて感じました。

さて、いよいよ今年度の連続セミナーも、次回が最終となります。第6回のセミナーは、実践セミナーです。学校関係、施設関係、地区の取組と、各分野で実践されている方々に発表していただきます。是非お越しください。

(文責 山中)